

もしもの ために…

ヘルメットを かぶりましょう

自転車の事故は通勤や通学の時間に多いです。特に**高校生の事故**が多いです。

そして、自転車の事故で亡くなる人は「**頭部（あたま）**」にけがをした人が多いです。

全損	頭部	頸部	胸部	腹部	腰部	脚部	その他	合計
101	1,265	75	249	84	110	28	69	1,981
5.1%	63.9%	3.8%	12.6%	4.2%	5.6%	1.4%	3.5%	-

（「H21～23 損傷種部位の割合」イタルダ・インフォメーションより）

※**大人が 12歳以下の子供に、ヘルメットをかぶせてください。**

大人も子供も、**頭を守るためにヘルメットをかぶりましょう！**



事故に そなえて、保険に入りましょう

自転車で人にけがをさせると、とても大変です。

●高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で自転車を走行中、前方の歩行中の看護師に衝突。看護師には重大な障害(手足がしびれて歩行困難)が残ったケースについて、加害者本人(判決当時 19 歳)が約 5,000 万円の賠償が命じられた。【平成 17 年横浜地裁判決】

●小学生が夕方、住宅街の坂道を自転車で下っていた際、散歩中の女性と正面衝突し、頭を強打、意識不明の重体となったケースについて、子供に対する監督義務を十分に果たしていなかったとの理由で、親が約 9,500 万円の賠償を命じられた。【平成 25 年神戸地裁判決】

※**子供が事故を起こしても、責任は大人と同じです。**

もしものために、**保険に入りましょう！**



お役立ち情報：「知ってる？守ってる？自転車利用時の交通ルールとマナー」（政府広報オンラインより）

TS マーク制度を活用する方法もあります

TS マーク制度とは？

自転車を安全に利用してもらうための制度です。

TS マークは、自転車安全整備士が自転車を点検、整備して道路交通法上の普通自転車として確認したときに貼られます。このマークが貼られている自転車には、傷害及び賠償責任保険が付いています。（写真の赤色 TS マークは賠償責任保険の最高限度額が 1 億円で、1 年間有効です）

- 記載の日付から 1 年間有効です。
- 期限内に販売店で整備・点検をしてください。

